

病気になっても仕事を続けられる 職場環境を作きましょう！

近年、がんの治療は進歩し、がんになっても仕事を辞めず、働き続けることができるようになってきました。企業としては、今後、労働者の高年齢化に伴い、がん罹患する社員の増加が見込まれるため、経営の観点からも、社員が治療を続けながら働くことができる環境を整備する必要があります。「治療と職業生活の両立支援対策」は、メンタルヘルス対策と同様に、今、企業が取り組むべき大きな課題の一つです。

全国の産業保健総合支援センターでは、両立支援に関する各種支援を無料で提供しています。ぜひご活用ください。

【提供している主なサービス】

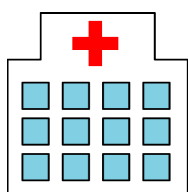
- ・事業者に対する啓発セミナー
- ・管理監督者向けの両立支援教育
- ・事業場への個別訪問支援
- ・両立支援に関する相談対応
- ・患者（労働者）と事業場との個別調整支援
- ・情報提供

病気になっても、働き続けることを多くの方が希望しています。私たちが両立支援をお手伝いします。



産業保健総合支援センター

治療のスケジュールや業務上の配慮の情報が分かり、スムーズに職場復帰をすることができました。



労働者（患者）

人事担当者と主治医の連絡調整を支援してもらい、安心して治療を受けています。



企業



【お問合せ先】



独立行政法人労働者健康安全機構

大阪産業保健総合支援センター

〒540-0033 大阪市中央区石町2-5-3 エル・おおさか南館9階

TEL: 06-6944-1191 FAX: 06-6944-1192

ホームページ: <https://osakas.johas.go.jp/>